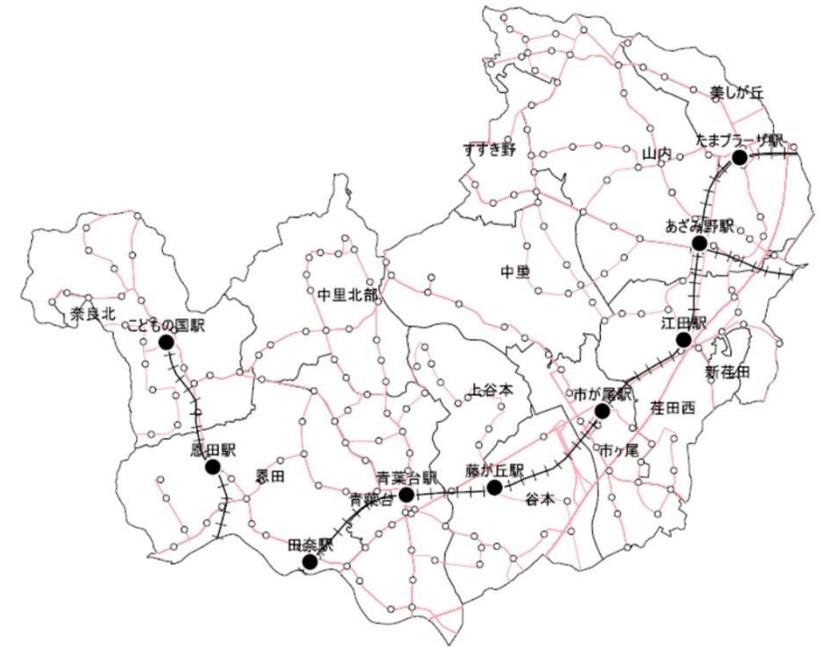


案件1 青葉区における取組の進捗及び計画案

青葉区における取組の進捗及び計画案

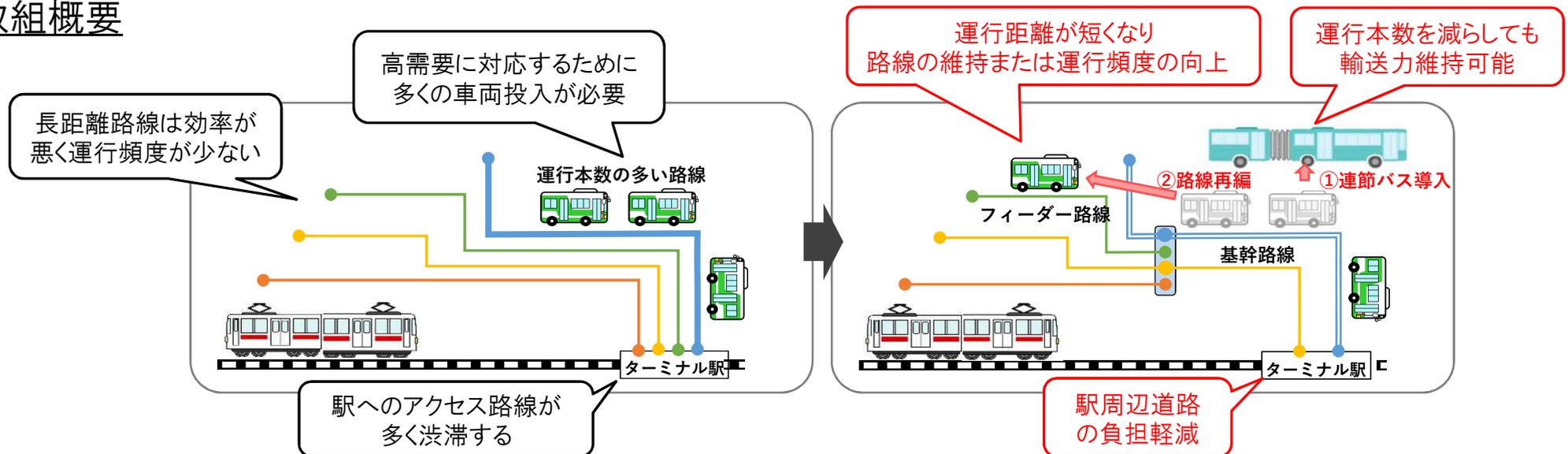
■取組実施の背景

- 青葉区は東西方向に走る鉄道を骨格として、各駅発着の路線バスが交通ネットワークを形成している
⇒バスネットワークの重要性が高い
- 青葉区北西部は特に高齢化率が高い地域
また、鉄道駅から遠く、長距離輸送路線が多い
⇒バス路線の維持が課題
- 沿道に大学や高校がある路線は高頻度で運行
⇒多くの乗務員や車両を投入
- 当該路線の運行事業者(東急バス株式会社)に連節バス導入の意向
⇒青葉区北西部において本事業を推進



青葉区の交通ネットワーク

■取組概要



青葉区における取組の進捗及び計画案

■青葉区北西部路線の概要(東急バス株式会社)

【青55系統】

青葉台駅～あかね台
運行距離 4.30km
運行便数 30便
ピーク時 51分車間
乗車人数 380人

【青56系統】

青葉台駅～緑山(循環)
運行距離 13.08km(1周)
運行便数 13便(循環)
ピーク時 52分車間
乗車人数 405人

【青61系統】

青葉台駅～日体大
運行距離 3.11km
運行便数 368便
ピーク時 2分車間
乗車人数 6,319人

【青118系統】

青葉台駅～奈良北団地折返場
運行距離 5.95km
運行便数 107便
ピーク時 10分車間
乗車人数 1,891人

※運行便数:平日・R4年10月末時点
乗車人数:1日あたり平均・R3年度実績



青葉区北西部 路線図(主なバス路線)

青葉区における取組の進捗及び計画案

■取組の全体像

- 高頻度・高需要路線への連節バス導入や長距離路線のフィーダー化の実施などにより、運行効率化を行う
- 効率化で生み出された経営資源を再配分することにより、面的な**バスネットワークの維持・充実**を図る

【連節バスを導入する路線】

青61系統 青葉台駅～日体大

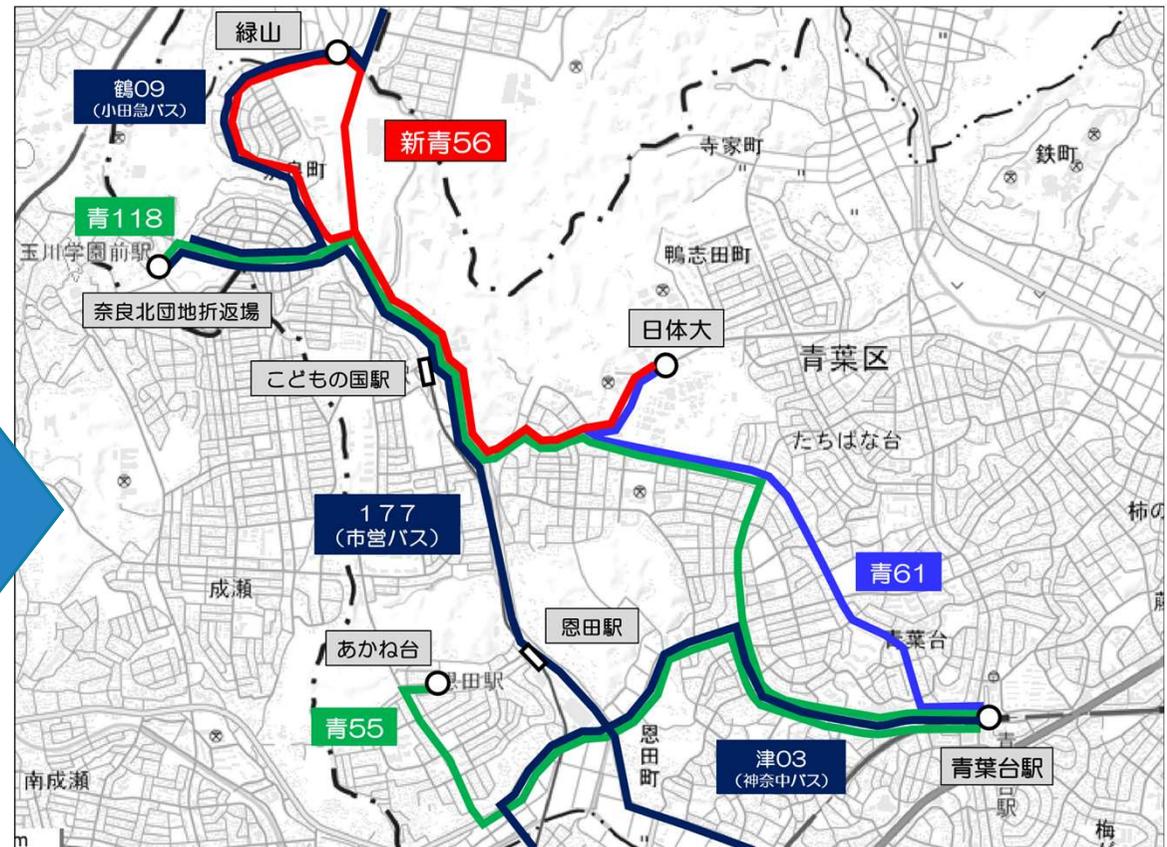
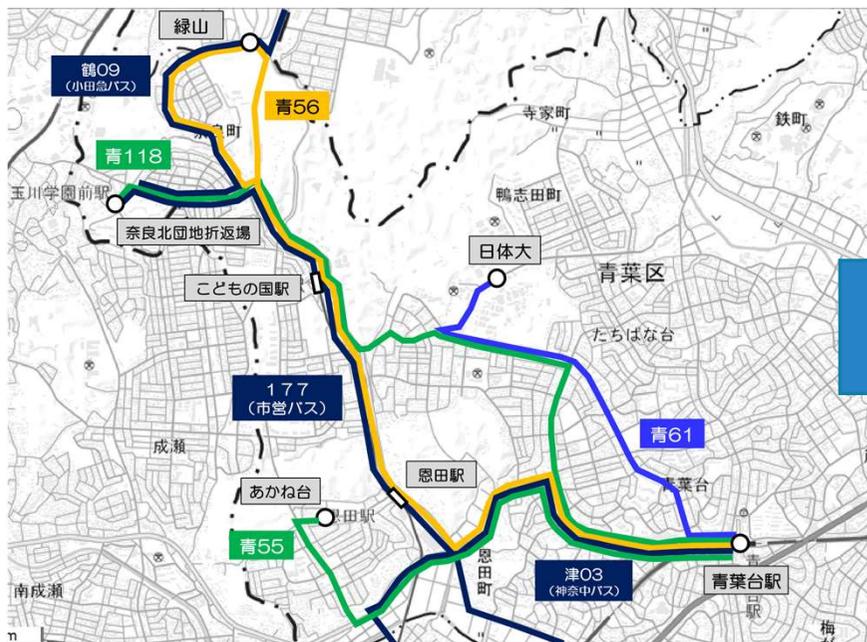
【長距離路線のフィーダー化】

青56系統 青葉台駅～緑山(循環)

【経営資源を再配分し、路線維持を行う路線】

青55系統 青葉台駅～あかね台

青118系統 青葉台駅～奈良北団地折返場



基本 の取組

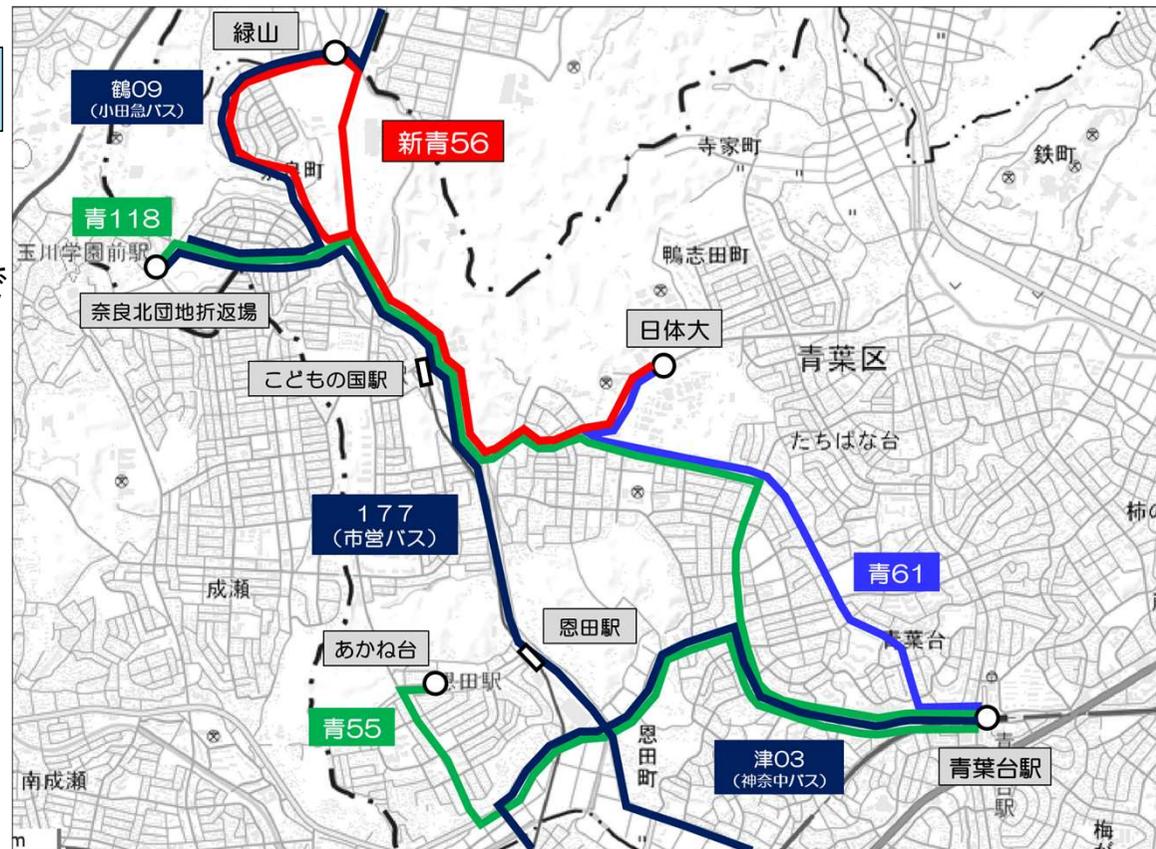
青61系統 連節バスの導入

【取組の概要】

- 連節バスを導入し、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で運行便数を減らすことで、事業者の経営資源を生み出す

【取組による効果・影響】

- 通勤通学時間帯における**駅混雑の緩和**
- **運行便数の減少(輸送力維持)**



「青葉台駅⇄日体大」の運行間隔(目安)

※最小・最大の運行間隔を記載

	取組前	取組後
朝	4～5分間隔	5～7分間隔
昼	4～7分間隔	5～8分間隔
夕	5～8分間隔	5～9分間隔

【駅混雑の様子(青葉台駅)】



取組

1 青56系統 乗継を伴う路線の維持

【取組の概要】

- 起点を青葉台駅から日体大に変更し、運行を効率化

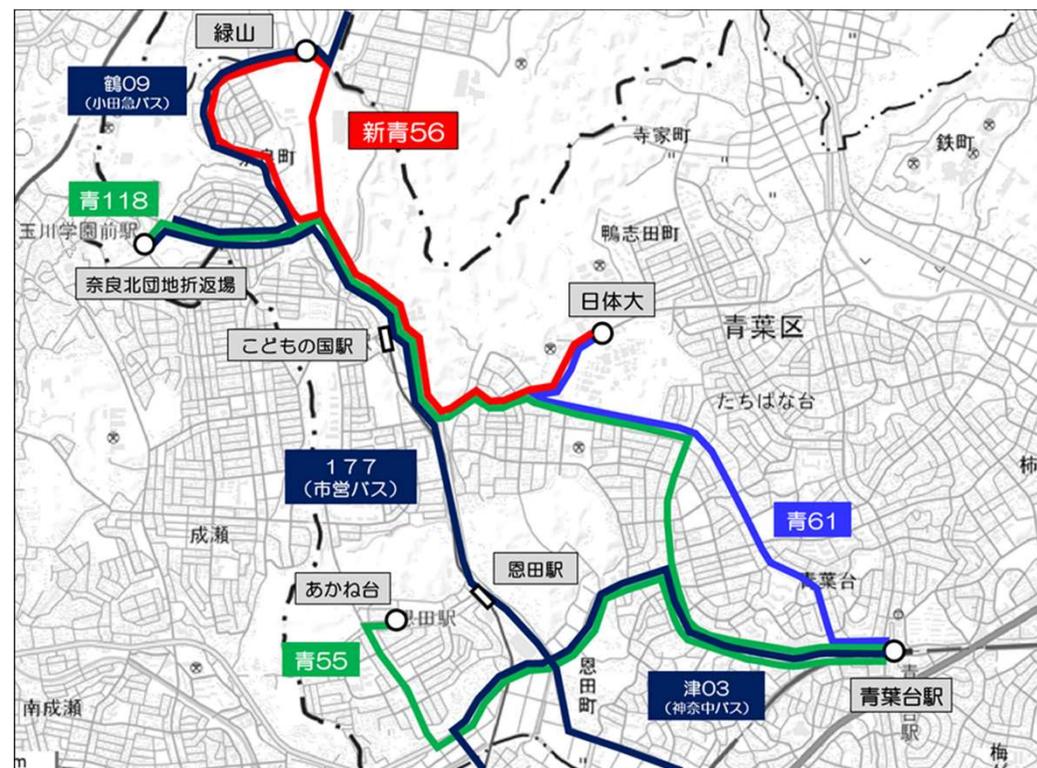
【取組による効果・影響】

- 路線短絡化により増便し、運行間隔を均等化
- 青葉台駅までは日体大での乗継を伴うが、乗継負担を軽減する取組を併せて実施

青56系統の運行間隔(目安)

※取組後は新青56系統の運行間隔を記載

取組前	取組後
約1～4時間間隔(13便)	約40～60分間隔(20～25便)
新青56系統の所要時間(青葉台駅～緑山まで)	
取組前	取組後
約28分	約28分+乗継時間

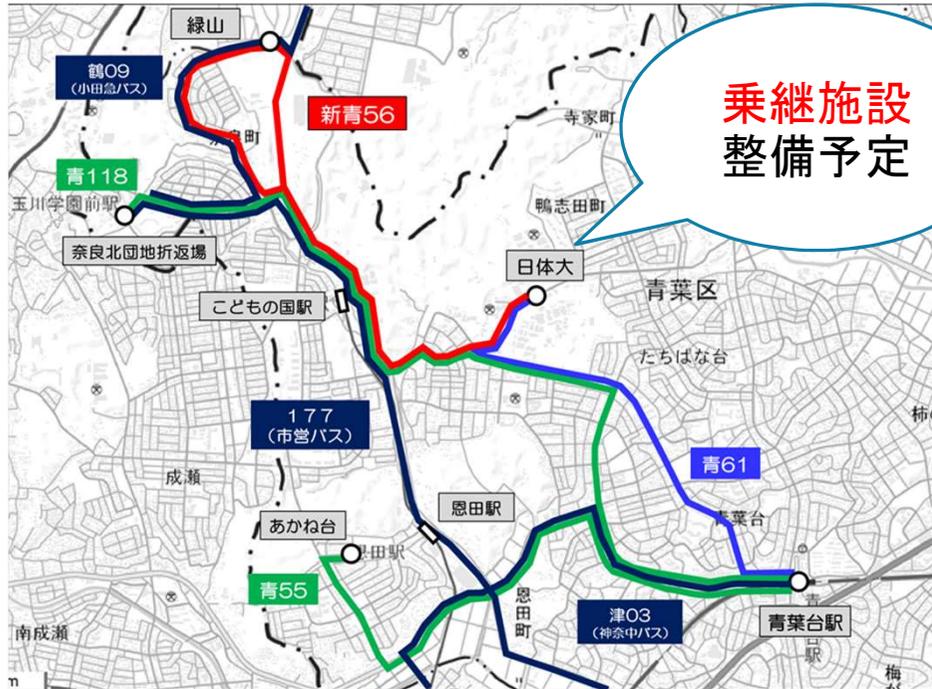


【乗継負担を軽減する取組】

- 日体大がバリアフリー対応の待合施設を整備予定
- 乗継において、新たな運賃負担は生じない予定(ICカード利用に限る)
- 乗継時間が最低限となるような運行ダイヤの工夫を行う予定

■乗継施設の整備について

- 日体大バスロータリーに日体大が**バリアフリー対応の待合施設を整備**する予定



【航空写真】



【現地写真】



取組 2

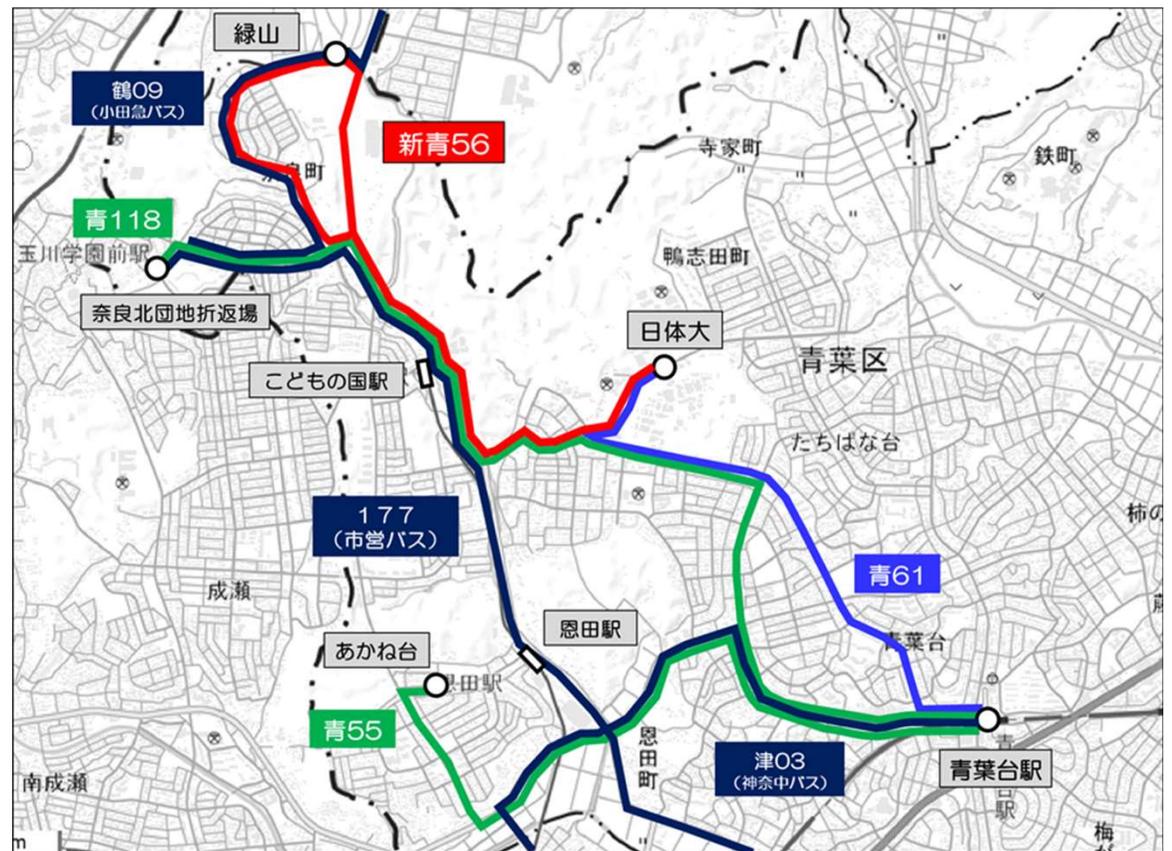
北西部周辺路線(青55,青118)路線の維持

【取組の概要】

- 連節バス導入により生み出された経営資源により運行本数を維持

【取組による効果・影響】

- 利用者減少や乗務員不足により減便等が検討される路線を維持



■ 計画案に対する意見募集について

【目的】

- 本取組の概要について地域の皆様やバス利用者等に広報し、その内容を知っていただく
- 地域の代表者だけでなく、若年層や中年層を含む
広くバスを利用されている方からも、本取組についてご意見を伺う

【実施方法】

- 配布：奈良・奈良北・恩田・青葉台・中里北部連合への回覧
 （東急バス路線のバス停から300m圏内に該当する自治会を基本）
 地区センターやケアプラザなどへ配架
- 広報：東急バス車内ポスター掲示、市道路局ウェブサイト掲載

【回答方法】

- 横浜市道路局ウェブサイトのアンケートフォーム
- アンケート用紙の郵送、ファクス、Eメール、直接持参

【実施後】

- 実施結果は地域の代表者の方々や事業者と共有し、
 事業計画案を検討する予定

青葉区北西部
バス路線を維持していくための取組について
ご意見をお聞かせください

横浜市と東急バス株式会社（以下「東急バス」）は、青葉区北西部におけるバス路線の維持に向けた取組を進めており、連節バス導入による主要バス路線の運行効率化と、それにより生じた経営資源をその他の路線へ再配分し、**エリア全体のバスネットワークを維持する取組**を検討しています。2、3ページに取組の概要を記載していますので、この取組の実施を想定してご意見をお寄せください。

募集期間・回答方法・お問合せ先

募集期間 令和4年12月3日（土）から令和5年1月10日（火）まで（当日必着）

回答方法 次の①または②の方法によりご意見をお寄せください。
 可能な限り①ウェブサイトからの回答のご協力をお願いします。

①下記ウェブサイトのアンケートフォームからご回答ください。
 バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業 ウェブサイト：
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/letsu/bus_kotsu/soukou/sookoukanryo.html
 右の二次元コードを読み取ることで、ウェブサイトへアクセスいただくこともできます。

②4ページの記入用紙にご記入いただき、下記の「ご提出先」まで、郵送、ファクス、Eメール、直接持参にて、記入用紙をご提出ください。（記入用紙はコピーでも構いません。また、上記ウェブサイトからダウンロードもできます。）

<p>ご提出先1 お問合せ先</p> <p>横浜市道路局企画課（交通計画課） 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527 Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp</p>	<p>ご提出先2 持参のみ</p> <p>横浜市青葉区政推進課（区役所4F73番窓口） 〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町31番地4 電話：045-978-2217</p>
---	--

ご提出先3 持参のみ ※下記施設には紙のアンケート用紙の配布もご用意しております。ご活用ください。
 下記施設にもアンケート回収ボックスを設置しております。
 ・奈良地区センター ・奈良地域ケアプラザ ・恩田地域ケアプラザ ・青葉台地域ケアプラザ
 ・若草台地区センター ・青葉台郵便局 ・鶴志田地域ケアプラザ ・鶴志田郵便局 ・青葉区民交流センター

取組スケジュール・意見募集の位置づけ

現在、東急バスが作成した案案について、関係者協議や専門家会議でご意見を伺っており、並行して、この意見募集により広くご意見を伺うものです。

アンケート用紙 表紙

青葉区における取組の進捗及び計画案

■ 青56系統の再編について

- 青56系統の短絡化に関して、乗継の負担感を懸念する声もいただいているアンケートでは2案を提示し、青56系統の再編内容に関する意見も募集する

【案1】



運行ルート 日体大～緑山(循環)
運行本数 20～25便程度
(間隔 約40～60分程度)

【案2】



運行ルート ①青葉台駅～緑山(循環)
②日体大～緑山(循環)
運行本数 ①2便程度(朝夕1本ずつ程度)
②15～20便(間隔 約40分～2時間40分)

■連節バス導入に伴う走行環境の整備について

- 青61系統(青葉台駅～日体大)が運行するルートは、片側1車線の道路
⇒連節バスが安全に走行するために、走行環境の整備(バスベ이의整備等)を実施



青葉区における取組の進捗及び計画案

■連節バス導入に伴う走行環境の整備について

- 青61系統(青葉台駅～日体大)が運行するルートは、片側1車線の道路
⇒連節バスが安全に走行するために、走行環境の整備(バスベいの整備等)を実施



■バスベいの整備について

	既存バスベい		整備内容(案)
	日体大方面	青葉台方面	
青葉台二丁目	×	×	バスベいの新設
公園前	○	○	既存バスベいの延長
青葉台小学校入口	×	×	バスベいの新設
桂台	○	○	バスベいの延長
田奈高校	×	×	バスベいの新設
すみよし台	×	○	バスベいの新設及び延長
横浜美術大学	○	○	整備無し(青61系統通過)

青葉区における取組の進捗及び計画案

■ 自転車通行環境の変更について

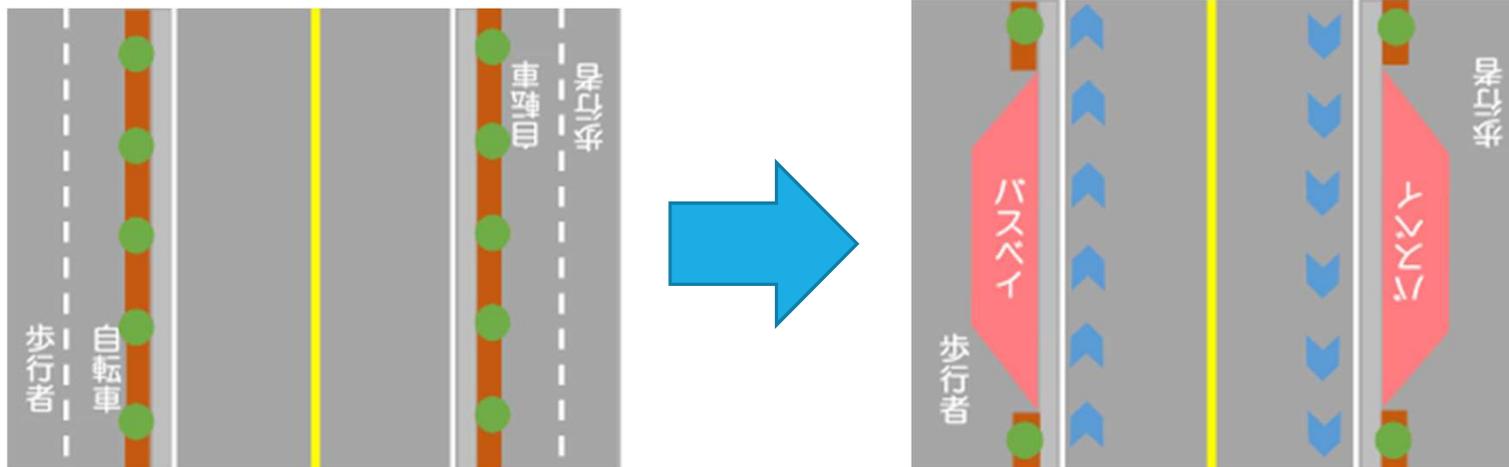
バスベイ設置にあわせて、自転車走行環境の整備を実施



A区間にはB区間と同様に
矢羽根型路面表示を設置します。

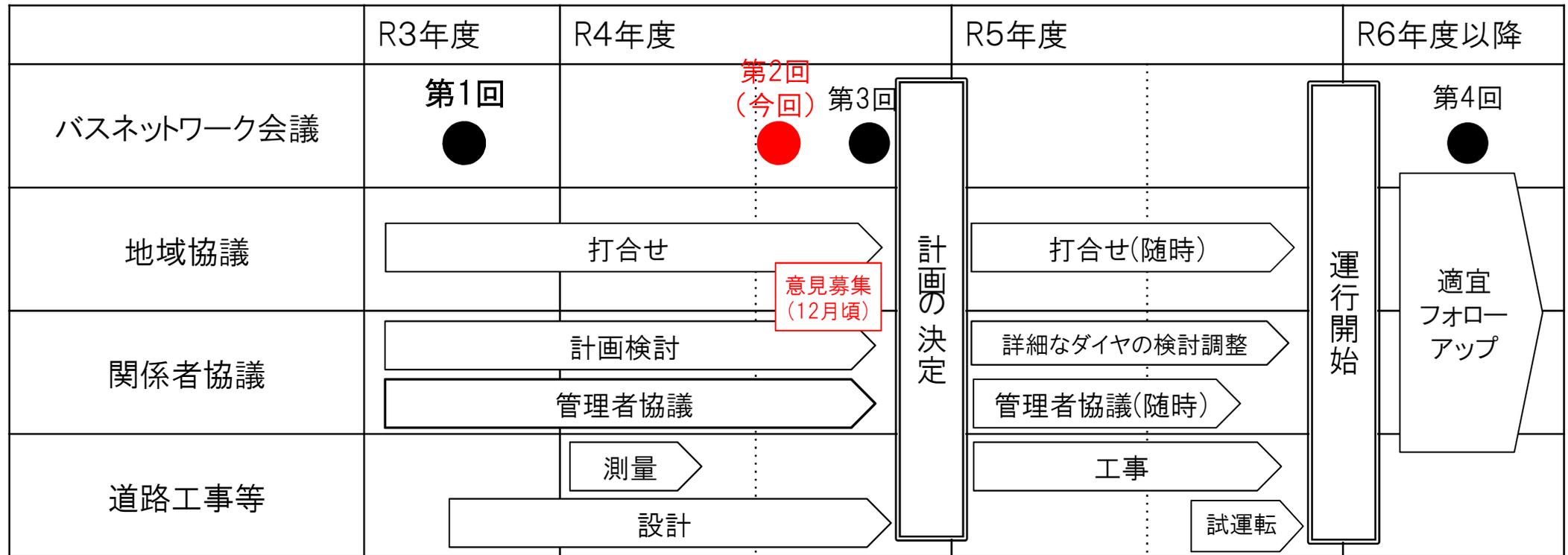


【整備前後のイメージ】



青葉区における取組の進捗及び計画案

■今後のスケジュール(予定) ※現時点での大まかな予定であり、関係者協議等の進捗により適宜変更する



※バスネットワーク会議 内容(3回目以降は予定)

第1回:取組開始 第2回:方向性揭示 第3回:計画案の提示 第4回:フォローアップ